

さっぽろ雪まつり - つどーむ会場の内容（屋外）

つどーむ会場は大通公園から約 10 キロのところにあり、様々な屋外のウィンタースポーツと楽しいアクティビティを提供してくれます。全ての年齢の人が雪の中で楽しめる約 24 のオプションがあります。

スライダー

チューブスライダーは、長さ 100 メートルのスロープを滑り降ります。大人も子供も両者の安全を保つため、スロープの両側は高くなっています。待ち時間が最少になるように、レーンは 6 つあります。

わくわくスライダーには、親子が前後に 2 人乗りするチューブ用の 2 レーンを含め、そりやチューブ用に数レーンあります。

氷のすべり台には、1 人滑り用のレーンと同様に、ペアで滑るための「親子レーン」が 2 つあります。

幼児や低年齢の子供は、トンネルすべり台で、雪のトンネルの中を勢いよく滑ることができます。

その他のアクティビティ

わくわくスノーパークには 4 つのエリアがあります。雪の迷路エリア、雪のトンネルエリア、雪だるまを作るエリア、雪遊びのエリア、です。

2 種のスノーゴルフが楽しめます。1 つは 6 ホールのスノーゴルフコースで、もう 1 つはサッカーとゴルフを融合させた雪の「フットゴルフ」です。

スノーボールチャレンジャーは、賞品を手に入れるため、標的に雪玉を投げるというシンプルなゲームです。

雪原上をスノーモービルで引っ張られる「スノーラフト」は、全ての年齢のビジターに人気です。

昔ながらのそり用のスロープもあります。

低年齢の子供向け

4 歳以下の子供に、いくつかオプションがあります。スノーキッズアドベンチャーでは、スノーストライダーというスキーが装備された雪用のストライダーを楽しめます。これは 2 歳児でも乗ることができます。スキーが装備されたキックスクーターもあります。

静けさを求めて（もっと静かに楽しむには）

つどーむでのアクティビティはよりおとなしく楽しむオプションも沢山用意しています、例えば、ルーペで雪の結晶を観察することもできますし、体の一部を雪の中に埋めて写真撮影もできます。雪まつりアイスカフェでは、ビジターは氷からグラスを作ることができ、その

グラスでソフトドリンクやアルコール飲料を楽しめます。さらに、地域住民が作った「ウェルカム」の意を込めた雪像と高校生が作った「スノーオブジェ」を愛でながら散歩することもオプションの1つです。

一般情報

つどーむ会場は、他の会場より数日早く、1月の最終日に開き、2週間運営されます。毎日午前9時に開き、日没の頃閉まります。つどーむ会場を訪れる時は、帽子と手袋、そして暖かいスキーウェアかスノースーツの着用を強くお勧めします。シャトルバスとタクシーがつどーむ会場と市の中心部との間を定期的に走っています。